

1. 単元名 “Hi, friends!1” Lesson 9 「What would you like?」 ランチメニューを作ろう

2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、5年生になってから“Hi, friends!1”を使って活動を行っている。児童は外国語活動への意欲が旺盛で、外国語を使ったゲームやチャンツに楽しみながら取り組む児童が多く見られる。絵カードやジェスチャーなどからGTの言っていることを分かろうと努力する児童も多い。

児童はこれまでの学習において、Lesson3の「How many?」で、数を尋ねたり答えたりする表現を、Lesson4の「I like apples.」で、相手に好きかどうか尋ねたり答えたりする表現を、そして、Lesson5の「What do you like?」では、相手の好みを聞いたり答えたりする表現を学習してきた。

児童に、外国語活動についてアンケートをとったところ、「外国語活動が好き」と答えた児童は約9割で、その理由として、「ゲームやチャンツで楽しく覚えられて楽しい」「外国と日本で違う表現の仕方や文化があることを知ることができて楽しい」といった意見が出た。その一方で、みんなの前で自分の思いや考えを伝えることが苦手な児童もいる。また、対話を続けるための表現を活動や日常場面で積極的に使おうとする児童も多くはない。

- 本単元は、「欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりとする。」「欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。」「世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねたり答えたりする際、丁寧な表現があることに気付く。」ことを目標としている。

本単元において、世界の様々な料理を紹介することは、児童の興味・関心を高めることができると考える。また、身近なお店やレストランなどで相手に何が欲しいか尋ねたり答えたりする場面を設定し児童に比較させることで、英語にも丁寧な表現があるということに気づくことができる単元である。さらに、カフェテリアで店員と客に分かれてロールプレイを行う活動を設定することにより、相手の好みや数を尋ねるなど対話を続ける表現も使ってのやり取りを経験することができ、実生活で進んでコミュニケーションをとることに生かせる単元だと考える。

- 指導にあたっては、第1時ではデジタル教材の映像を活用し、世界の給食の様子や献立を紹介し、日本を含めたそれぞれの国の給食を比較させ、食文化の共通点や相違点について気付かせる。また、新しい表現“What would you like?” “I'd like ~.”といった丁寧な表現があることに気付かせる。そして、担任とGTの香陵カフェテリアでのやりとりを通して、自分たちも友達に「スペシャルメニュー」を作りたいという意欲と本単元の見通しをもたせたい。

第2時では、ミッションゲームやキーワードゲームを通して、対話を続けるための表現や食べ物の英語での言い方や丁寧な表現に慣れ親しむ活動を行う。また、第4時に向けて「スペシャルメニュー」作りの際に児童の思いが反映されるよう、「Hi, friends!1」に記載されていない食べ物についても取り扱う。

第3時では、第4時のコミュニケーション活動で行う店内でのロールプレイに自信をもたせるために、対話を続けるための表現や丁寧な表現を使ってミッションゲームを行う。また、対話を続けるための表現を使って友達に食べ物の好みをインタビューし、好きな食べ物を想像させておく。

第4時では、香陵カフェテリアの場を設定し、事前に調べたり考えたりしたものをもとに児童一人ひとりに「友達へのスペシャルメニュー」を各自で作らせるという活動の中で、GTや友達と対話を続ける表現や丁寧な表現を使ってのやり取りをしていき、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを味わわせたい。

3. 目標

- 欲しいものについて丁寧な表現の仕方です積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
(コミュニケーションの関心・意欲・態度)
- 欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- 世界の料理や食べ物に関する英語表現に興味をもつとともに、欲しいものを尋ねたり言ったりする際に丁寧な表現があることに気付く。(言語や文化に関する気付き)

4. 単元の考え方

本単元の構成は、次のようになっている。まず、飲食店ででのやり取りの場面を設け、英語にも丁寧な表現があることに気付かせる。普段一緒に生活している友達の好みにあったメニューを考えるというめあてをもたせ、対話を続ける表現やいろいろな食べ物の言い方や欲しいものを丁寧な表現で尋ねたり答えたりすることに慣れ親しませていく。次に、友達の好みのメニューを作るために友達に対話を続ける表現を用いて直接インタビューをし、インタビュー結果をもとに店員と客に分かれてロールプレイを行わせる。最後には、一人一人が作ったメニューをグループで発表し、どうしてそのメニューにしたのかを交流させる。この単元は、最後のコミュニケーション活動において、児童が友だちのためにメニューを考えることで、相手に喜んでもらえるものになりたいという活動の意欲を高めることができる。また、相手や場面に応じて表現を工夫することで、相手のことを大切にしたいコミュニケーションを楽しむことができるというよさがある。

そこで、第4時では、香陵カフェテリアという世界各国の料理を扱うカフェテリアを設定し、児童が、お客さんと店員に分かれたり、GTがお店を出したりする場を作り、欲しいものを尋ねたり答えたりする活動を行わせる。その際、相手意識をもった活動にするために、友達のためにメニューを選ぶというめあてをもたせる。また、活動の終わりには、なぜそのメニューを選んだのかグループ内で交流させることで、コミュニケーションの楽しさを味わわせることができると考える。

5. 単元構成・評価規準（全4時間 ○は本時）

時	段階	目標と主な活動	評価の観点			評価
			コ	慣	気	評価基準<方法>
1	出会う	欲しいものを尋ねたり言ったりするとき、英語にも丁寧な表現があることに気付く。 色々な食べ物の言い方を知る。 「世界の給食比べをしよう」 「香陵カフェテリアで注文を聞こう」			◎	日本と外国の給食の共通点や相違点に気づく。【気】 欲しいものを尋ねたり答えたりする際、丁寧な表現があることに気づく。 【気】 <行動観察・振り返りカード点検>
2	関わる	対話を続けるための表現も使いながら、食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 「キーカードゲーム」「ラッキーカードゲーム」		◎		対話を続けるための表現も使いながら、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>
3		対話を続けるための表現も使いながら、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 「ミッションゲーム」		◎		対話を続けるための表現も使いながら、欲しいものを丁寧な言い方や態度で尋ねたり答えたりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>
④ 本時	伝え合う	友達のためのスペシャルメニューを作るために、対話を続けるための表現も使いながら、欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりする。 「スペシャルメニューを作ろう」	◎			友達のためにスペシャルメニューを作るために、対話を続けるための表現も使いながら、欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしている。【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>

6. 単元の評価規準と基準

<p>単元目標 1. 欲しいものについて丁寧に積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 (コ)</p> <p>2. 欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しむ。 (慣)</p> <p>3. 世界の料理に興味をもち、欲しいものを尋ねたり言ったりする際に、丁寧な表現があることに気付く。 (気)</p>			
<p>評価基準 ○ 友達のためのスペシャルメニューを作るために、対話を続けるための表現も使いながら、欲しいものについて丁寧かつ積極的に尋ねたり答えたりしている。 (コ)</p> <p>○ 欲しいものについての丁寧な表現の仕方や尋ね方に慣れ親しんでいる。 (慣)</p> <p>○ 世界には様々な料理があることや、英語にも場に応じて丁寧な言い方があることに気付いている。 (気)</p>			
観点	評価場面と方法	おおむね満足な姿	※おおむね満足する姿に達していない場合の考えられる支援
外国語への慣れ親しみ	<p>【第4時】</p> <p>ランチメニューを作っている場面 (行動観察) (作品観察) (振り返りカードの分析)</p>	<p>○ 友達のためのスペシャルメニュー作りのために、積極的に対話を続けるための表現や丁寧な表現を使って作っている。</p> <p>・友達のことを考えながら活動をしている。</p>	<p>・欲しいものを伝えられない。</p> <p>※横に寄り添って一緒に言う。</p>
	<p>【第2時】</p> <p>キーワードゲーム、ラッキーカードゲームをしている場面 (行動観察) (振り返りカードの分析)</p>	<p>○ 対話を続けるための表現も使いながら、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりしている。</p> <p>・“What would you like?” “I'd like ~.”を繰り返し言って活動している。</p>	<p>・対話を続けるための表現を使ったり、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりしようとしなない。</p> <p>※横に寄り添って一緒に言う。</p>
	<p>【第3時】</p> <p>ミッションゲーム・自分のスペシャルメニューを作っている場面 (行動観察) (振り返りカードの分析)</p>	<p>○ 対話を続けるための表現も使いながら、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現を繰り返し使っている。</p> <p>・相手の目を見て尋ねたり答えたりしている。</p> <p>・反応を返しながら相手の欲しいものを聞いている。</p>	<p>・対話を続けるための表現を使ったり、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現を繰り返し使おうとしていない。</p> <p>※丁寧な態度で活動をしている児童と交流させたり、横に寄り添って一緒に言ったりする。</p>
	<p>【第3時】</p> <p>友達に好みの食べ物をインタビューしている場面 (行動観察) (振り返りカードの分析)</p>	<p>○ 対話を続けるための表現を使って、友達の好みをインタビューしている。</p> <p>・相手の目を見て尋ねたり答えたりしている。</p> <p>・反応を返しながら相手の好みの食べものを聞いている。</p>	<p>・対話を続けるための表現を使って、友達の好みの食べ物を尋ねたり、答えたりしようとしなない。</p> <p>※横に寄り添って一緒に言う。</p>

言語や文化に関する気づき	<p>【第1時】 香陵カフェテリアで注文を受ける場面 (発表観察) (振り返りカードの分析)</p>	<p>○ 丁寧な言い方があることに気付いている。 ・「英語にも日本語と同じように丁寧な言い方があるんだね。」</p>	<p>・聞くポイントを意識せずに聞いている。 ※ 聞くポイントをあらかじめ伝える。</p>
	<p>【第1時】 世界の給食比べを聞いている場面 (発表観察) (振り返りカードの分析)</p>	<p>○ 世界には様々な給食や料理があり、日本と共通点や相違点があることに気付いている。 ・「バイキング形式なんだね。」 ・「韓国は日本と似ているな。」</p>	<p>・外国の文化に興味を示さない。 ※ 自分たちの給食と比べさせたり、食べ物の絵カード等を提示したりして、興味・関心をもたせる。 ※ GTに外国の料理や食文化などについて話をしてもらおう。</p>

7. 本時

平成 29 年 10 月 25 日 (木)

8. 本時の目標

- 対話を続けるための表現や丁寧な表現を使って、友達の好みの食べ物を注文し、それをもとに「スペシャルメニュー」を作る。

9. 本時指導の考え方

- 本時は、今までに習った表現、丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を使って友達のためのスペシャルメニューを作ることをねらいとしている。

めあてに入る前に、「友達へスペシャルメニューを作りたい」という、前時の児童の感想を取り上げ、「友達のためのスペシャルメニューを作ろう」という本時の活動への意欲を高めさせる。また、担任と GT が店員と客に分かれ、カフェテリアで買い物をするデモンストレーションを設定し、対話を続ける表現や丁寧な表現を使って、欲しいものを尋ねたり答えたりするやり取りを見せることで、活動の見通しをもたせたい。

活動では、前時で友達の食べ物の好みについてインタビューをしたものをもとに、友達のためのスペシャルメニューを作っていく活動をさせる。前半と後半に分かれて児童同士で店員と客になり、対話を続ける表現を使って好みや数を尋ねたり、“What would you like?”の表現を使ったりしながらやり取りをさせる。その際、ペアで店員をすることで、コミュニケーションが苦手・自信がない児童が安心して活動することができるように支援していきたい。GT が飲み物の店を担当して、いろんな質問をすることで、対話を続ける表現を生かし、実践に近いコミュニケーションができるようにもする。中間交流では、対話を続ける表現や丁寧な表現を積極的に使っている児童を紹介し、後半の活動へ活かせるようにする。

最後に、なぜそのようなメニューにしたのか理由も伝えることで、スペシャルメニューを受け取った児童に「友達が自分のことを考えて作ってくれた」という喜びを感じさせることができ、さらにコミュニケーションの楽しさを味わわせることができるようにしたい。

振り返りには、本時のめあてをもとに活動を振り返らせ、対話を続ける表現や丁寧な表現を使えたか・友達をはじめ自分の新たな一面を知ることができたかなど視点をもとに、「今日の学習で」を書かせる。

最後には、GT に今日の活動のよかった所や欲しいものを尋ねたり答えたりした経験を話してもらい、「今日の活動で使った表現を使えばコミュニケーションを図ることが出来るようになる」と、さらなる外国語学習への意欲につなげたい。

10. 本時の展開

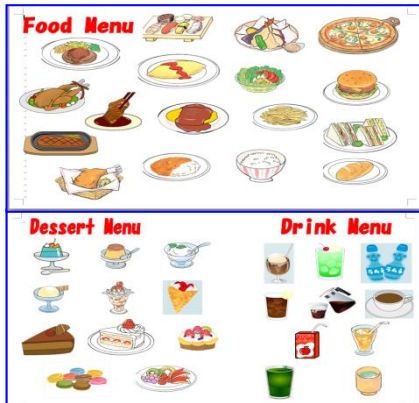
過程	児童の活動	担任の支援	GTの支援	教材・評価場面
あいさつ(1)	1 あいさつをする。	Hello everyone. How are you?	・児童, 担任とあいさつを交わす。	
ウォームアップ(2)	2 チャンツをする。 ・音声教材を聞き一緒に言う。	・絵カードを見せながら一緒に言う。	・ゆっくり繰り返し発音する。	・電子黒板 ・デジタル教材
めあて確認(1)	3 めあてを確かめる。	・前時の感想を紹介し, 今日の活動の見通しをもたせる。		
対話を続けるための表現, 丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を使って友達のためのスペシャルメニューを作ろう。				
コミュニケーション活動(35)	4 「スペシャルメニューを作ろう」をする。 (活動の詳細は次項に掲載) (1) デモンストレーションを見て, 見通しをもつ。 (2) お店屋さんとお客さんの2つのグループに分かれて交流する。 (3) 中間評価を行う。 (4) 役割を交代して, 活動を続ける。 (5) お互いに作ったメニューを紹介し合い, 全体の場で, 代表児童がメニューを紹介する。その際, どのようなテーマで作ったかも発表する。	Today's activity is 「make a special menu.」 ・GTとデモンストレーションを行い, 対話を続けるための表現を使ったり反応したりする姿を見せながら, スペシャルメニュー作りや紹介の仕方を演示する。 ・児童と一緒に活動する。 ・コミュニケーションで大切なことを意識しながら, 丁寧な言い方で尋ねたり答えたりしている児童・対話を続けるための表現を使っている児童を紹介する。 ・代表児童のメニューを取り上げ, 紹介させる。	・扱う表現や反応, ジェスチャーを使ってデモンストレーションを行う。 ・飲み物の店を担当し, 子どもにいろいろな質問をして対話を続けるための表現でやりとりしたり, コミュニケーションで大切なことを意識しながら, 丁寧な言い方で尋ねたりする。コミュニケーションをしつかりとれた児童を褒める。 ・友達に作ったメニューを褒める。	・カフェテリアの場 ・担任とGTのスペシャルメニュー ・児童用ランチプレート ・食べ物の絵カード ランチメニューを作っている場面 ○ 欲しいものを対話を続けるための表現や丁寧な言い方や態度で尋ねたり答えたりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・
振り返り(7)	5 振り返りカードに記入し, 感想を交流する。	・めあてをもとに振り返るよう指示する。	・自己評価にコメント(good)を書いて回る。	・振り返りカード
<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言い方と態度で, 欲しいものを尋ねたり答えたりしましたか。 ・今までに慣れ親しんだ表現(好きかどうか・数を尋ねるなど)を使いましたか。 ・友達のことによって新たに知ったこと ・自分ができるようになったこと 				
あいさつ(1)	6 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	Good-bye.	

●本時活動の詳細

「スペシャルメニューを作ろう」 (オリジナル活動)

○ ねらい

対話を続けるための表現, 丁寧な表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりして友達のためにメニューを作る。



※留意点

- ・相手意識をもたせるために、「友達のためのメニュー」を作るという活動にする。
- ・巻末児童用絵カードを使い, P38,39 に載っていない料理を作らせても良い。
- ・児童を前半と後半で店員と客のどちらも体験させ, 対話を続けるための表現と“What would you like?” “I'd like ~.”の表現を使ってやりとりをさせる。
- ・できたメニューを後で紹介できるように, ランチプレートのプリントに貼らせておく。
- ・出来上がったメニューをお互いに紹介する。

○ 準備

食べ物の絵カード (教師用・児童用), 学習プリント (ランチプレートのシート), メニュー表

○ 進め方

担 任	G T
<p>① 留意点を伝える。(友達のために作る・メニューに名前をつける)</p> <p>② 店員と客になり, 前半と後半で役を交代しながらメニューを作ることを伝える。</p> <p>③ デモンストレーションをする。</p>	<p>③ 担任とデモンストレーションをする</p>
<p>GT: Hello. 担任: Hello. (挨拶をする)</p> <p>GT : How are you? 担任:I'm ○○ (様子や状態を聞く)</p> <p>GT: What would you like?</p> <p>担任: I'd like ~and~.</p> <p>GT: ~, and ~? (注文の確認を取る)</p> <p>GT: How many~? 担任 : 1○○and, 1○○please. (数を尋ねる)</p> <p>GT: OK. Here you are. (児童用絵カードを両手で渡す)</p> <p>担任: Thank you. (笑顔で)</p> <p>GT: You're welcome. See you. (挨拶をする)</p> <p>担任: See you. (買ったメニューを学習プリントに貼る)</p>	
<p>④ 【前半】 児童と一緒に活動する。</p> <p>⑤ 中間評価を行い, その後の活動に活かせるように, コミュニケーションで大切なことを意識しながら, 丁寧な言い方で尋ねたり答えたりしている児童や対話を続けるための表現を使っている児童を紹介する。</p>	<p>② 飲み物の店を担当し, 子どもに対話を続ける表現でいろんな質問ややりとりしたり, コミュニケーションで大切なことを意識したりしながら, 丁寧な言い方で尋ねたりする。コミュニケーションがとれた児童を褒める。</p>

<p>⑤ 【後半】 児童と一緒に活動する。</p> <p>⑥ グループ毎に作ったメニューについて紹介することを伝える。</p> <p>⑦ デモンストレーションをする。</p>	<p>⑦ 担任とデモンストレーションをする</p>
<p>GT: Do you like ○○? (好きかどうか尋ねる) 担任: Yes, I do. I like ○○./ No. I don't. I like ○○ GT: ○○'s lunch. ~, ~, and~. This is ○○lunch! (友達に作ったテーマを言う) 担任: Nice lunch! / Wonderful lunch! / Good lunch! / Yes, I like 等 (反応する)</p>	
<p>⑧ 紹介を見て回り、代表児童のメニューを取り上げ、全体で確認する。</p>	<p>⑧ 児童が作ったメニューを褒める。</p>

●第1時目標（1／4時）

- 欲しいものを尋ねたり言ったりするとき、英語にも丁寧な表現があることに気付く。

●本時活動の詳細

過程	児童の活動	担任の支援	GTの支援	教材・評価場面
あいさつ（2）	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	・ 児童, 担任と挨拶を交わす。	
ウォームアップ（10）	2 学習の見通しをもつ (1) 活動A「世界の給食比べをしよう。」をする。 (2) 丁寧な言い方を知るためのデモンストレーションを見て学習の見通しをもつ。	・世界の学校の給食と日本の給食を比較させる。 ・デモンストレーションを見せて丁寧な言い方があることに気付かせる。	・扱う表現やジェスチャーを使ってデモンストレーションをする。	・電子黒板 ・デジタル教材 世界の給食比べを聞いている場面 ○ 日本と外国の給食の共通点や相違点に気付いている。(言語や文化に関する気づき)
めあて確認（1）	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.		
欲しいものをたずねたり答えたりする丁寧な言い方を知ろう。				
コミュニケーション活動（23）	4 食べ物の言い方を知る。 5 活動B「香陵カフェテリアで注文を聞こう」のデモンストレーションを見る。 (2) 欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な言い方を知る。	・単元全体の見通しをもたせるために、デモンストレーションを見せる。 (活動の詳細は次頁)	・香陵カフェテリアのメニュー表を使って食べ物の言い方を言う。 ・扱う表現やジェスチャーを使ってデモンストレーションをする。	・メニュー表 ・食べ物カード 香陵カフェテリアで注文を受ける場面 ○ 欲しいものを尋ねたり答えたりする際、丁寧な表現や尋ね方に気付いている。 (言語や文化に関する気づき)
振り返り（8）	7 振り返りカードに記入し、感想を交流する。			・振り返りカード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・世界の給食の様子や献立を見て、日本との共通点やちがうところに気付きましたか。 ・欲しいものを尋ねたり言ったりするとき、英語にも丁寧な言い方があることに気付きましたか。</p> </div>				
あいさつ（1）	8 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.		

「香陵カフェテリアで注文を聞こう」(オリジナル活動)

○ ねらい

欲しいものを尋ねたり答えたりする丁寧な表現に気付く。



※留意点

- ・児童が，“What would you like?”の表現を聞き取れるように，ゆっくりはっきり発音したり，丁寧なジェスチャーを大きくつけて見せたりする。
- ・丁寧な言い方だけではなく，今まで慣れ親しんだ表現を使っていることにも気付かせる。

○ 準備

メニュー表・食べ物カード・ランチプレート

進め方

担任	GT
① デモンストレーションをする。	① デモンストレーションをする。
<p>GT: Hello. 担任: Hello. (挨拶をする)</p> <p>GT: How are you? 担任: I'm ○○ (様子や状態を聞く)</p> <p>GT: What would you like?</p> <p>担任: I'd like ~and~.</p> <p>GT: ~, and ~? (注文の確認を取る)</p> <p>GT: How many~? 担任: 1 ○○and, 1 ○○please. (数を尋ねる)</p> <p>GT: OK. Here you are. (児童用絵カードを両手で渡す)</p> <p>担任: Thank you. (笑顔で)</p> <p>GT: You're welcome. See you. (挨拶をする)</p> <p>担任: See you. (買ったメニューを学習プリントに貼る)</p>	
② どんな言い方が丁寧な言い方なのか，児童に尋ね，言い方を確認する。	
③ GTのために作ったメニューを紹介する。	③ 担任のために作ったメニューを紹介する。
<p>GT: Do you like ○○? (好きかどうか尋ねる)</p> <p>担任: Yes, I do. I like ○○./ No. I don't. I like ○○</p> <p>GT: ○○'s lunch. ~, ~, and~.</p> <p>担任: Nice lunch! / Wonderful lunch! / Good lunch! / Yes, I like 等 (反応する)</p>	

Reflection Card

Name _____

Lesson 6

第1時	世界の給食の様子やこんだてを見て、日本との共通点やちがうところに気付きましたか。	☆	◎	○	△
	欲しいものをたずねたり答えたりするときに、ていねいな言い方があることに気付きましたか。	☆	◎	○	△
月	香陵カフェテリアで欲しいものを注文する様子を見て感想を書きましょう。				
	日				
第2時	ゲームを通して、食べ物の名前を言ったり、ていねいな言い方で欲しいものをたずねたり答えたりしましたか。	☆	◎	○	△
	今まで慣れ親しんだ表現を使いましたか。	☆	◎	○	△
月	キーワードゲームやラッキーカードゲームの感想を書きましょう。				
	日				
第3時	ていねいな言い方で欲しいものをたずねたり答えたりしましたか。	☆	◎	○	△
	今まで慣れ親しんだ表現を使いながら、友だちどうして好きな物をたずねたり答えたりしましたか。	☆	◎	○	△
月	友だちにインタビューをした感想を書きましょう。				
	日				
第4時	ていねいな言い方で欲しいものをたずねたり答えたりして、友だちのためのスペシャルメニューを作りましたか。	☆	◎	○	△
	友だちのために作ったメニューをしょうかいしましたか。	☆	◎	○	△
月	友だちと「スペシャルメニュー」をしょうかいし合った感想を書きましょう。				
	日				
Lesson 6 をふり返って、学んだことや気付いたことを書きましょう。					

●第2時目標（2／4時）

○ 対話を続けるための表現を使いながら，食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

過程	児童の活動	担任の支援	GTの支援	教材・評価場面
あいさつ (1)	1 あいさつをする。	Hello everyone. How are you?	・児童,担任と挨拶を交わす。	
ウォームアップ (3)	2 チャンツをする。 ・音声教材を聞き一緒に言う。	・絵カードを見せながら一緒に言う。	・ゆっくり繰り返し発音する。	・電子黒板 ・デジタル教材
めあて (1)	3 めあてを知る。	・ Today's aim is~		
<p>ゲームを通して,今までに慣れ親しんだ表現を使いながら，食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもう。</p>				
活動 (35)	4 「キーワードゲーム」をする。 (活動の詳細は次項に掲載)	・ The first activity is keyword game. ・絵カードを見せながら一緒に言う。	・はじめは数を少なくし，少しずつ増やしていく。また，言いにくい食べ物などは続けて取り入れていく。	・絵カード ゲームをしている場面 ○ 食べ物や欲しいものを丁寧な言い方や態度で尋ねたり答えたりしている。 (外国語への慣れ親しみ)
	5 「ラッキーカードゲーム」をする。 (活動の詳細は次項に掲載)	・ Next is lucky card game.	・扱う表現や反応，ジェスチャーを使ってデモンストレーションを行う。	・絵カード
まとめ (4)	6 振り返りカードに記入し，感想を交流する。	・めあてをもとに振り返るよう指示する。	・自己評価にコメント (good) を書いて回る。	・振り返りカード
<p>・ゲームを通して，食べ物の名前を言ったり，丁寧な言い方で尋ねたり答えたりしましたか。 ・今までに慣れ親しんだ表現を使いましたか。</p>				
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	Good-bye.	

本時の活動の詳細

「キーワードゲーム」(オリジナル活動)

○ ねらい

対話を続けるための表現を使いながら、食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。



※留意点

- ・児童が、活動を理解できるように、担任と GT でデモンストレーションを見せる。
- ・hamburger や hamburger steak など間違えやすいものを取り入れ、聞く意識を高めさせる。
- ・食べ物だけではなく、“I'd like green tea.”のように、キーワード以外は繰り返し言う場を作り、表現に慣れ親しませるようにする。
- ・対話を続けるための表現に慣れ親しませるために、Do you like~?などの表現も扱うようにする。

○ 準備

メニュー表・消しゴム (児童2人に1つ)

○ 進め方

担任	GT
<p>① 電子黒板にメニュー表を出し、キーワードゲームをすることを伝える。</p> <p>② デモンストレーションをする。担任が児童役をすることを全体で確認する。</p>	<p>② デモンストレーションをする。</p>
<p>GT : The key word is Hamburger. Do you like hamburger? (好きかどうか尋ねる)</p> <p>担任 : Yes, I do. I like hamburger.</p> <p>担任 : What would you like? (メニュー表を見せながら)</p> <p>GT : I'd like SUSHI.</p> <p>担任 : I'd like SUSHI.</p> <p>担任 : What would you like?</p> <p>GT : I'd like Hamburger.</p> <p>担任 : (目の前の消しゴムをとる)</p>	
<p>③ 食べ物の名前だけを真似するのではなく、丁寧な表現も合わせて答えを真似するように確認する。また、好きかどうか尋ねる表現も GT と一緒に言わせる。</p>	<p>③ 間違えやすいものや分かりにくいものは繰り返し言うようにする。しっかり繰り返している児童を褒める。</p>

本時の活動の詳細

「ラッキーカードゲーム」(オリジナル活動)

○ ねらい

対話を続けるための表現を使いながら、食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。



※留意点

- ・児童が、活動を理解できるように、担任と GT でデモンストレーションを見せる。
- ・対話を続けるための表現に慣れ親しませるために、Do you like~?などの表現も扱うようにする。
- ・対話を続けるための表現に慣れ親しませるためにあいさつや反応、物(カード)を渡す時の表現も扱うようにする。

○ 準備

メニュー表・食べ物カード

○進め方

担任	GT
<p>① 電子黒板にメニュー表を出し、ラッキーカードゲームをすることを伝える。</p> <p>② デモンストレーションをする。担任が児童役をすることを全体で確認する。</p>	<p>② デモンストレーションをする。</p>
<p>GT&担任： Hello. How are you? I'm ~.(挨拶をする/様子や状態を聞く)</p> <p>GT： What would you like?</p> <p>担任： I like hamburger.(欲しいカードを言う)</p> <p>GT： Oh, hamburger.(反応する) Do you like hamburger?(好きかどうかを尋ねる)</p> <p>担任： Yes, I do. I like hamburger. Hamburger Please.(物をもらおう)</p> <p>GT： Yes. Here you are.(カードを渡す)</p> <p>担任： Thank you.(挨拶をする)</p> <p>交代して、欲しいカードをもらおう。</p> <p>GT&担任： Good-bye.(挨拶をする)</p>	
<p>③ 中間評価を行い、その後の活動に活かせるように、コミュニケーションで大切に「アイコンタクトや反応」をしながら丁寧な言い方で活動していたり、対話を続けるための表現を使っていたりする児童の姿を紹介する。</p> <p>④ ゲーム終了時に、あらかじめ決めていた絵カードをラッキーカードであることを紹介し、ラッキーカードを持っている児童を勝ちとする。</p>	<p>③ 丁寧な言い方で活動していたり、対話を続けるための表現を使っていたりする児童を褒める。</p>

●第3時目標（3／4時）

- 対話を続けるための表現を使いながら，食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

過程	児童の活動	担任の支援	GTの支援	教材・評価場面
あいさつ(1)	1 あいさつをする。	Hello everyone. How are you?	・児童，担任と挨拶を交わす。	
ウォームアップ(2)	2 チャンツをする。 ・音声教材を聞き一緒に言う。	・絵カードを見せながら一緒に言う。	・ゆっくり繰り返し発音する。	・電子黒板 ・デジタル教材
めあて確認(1)	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.		
ゲームを通して，丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもう。				
コミュニケーション活動(35)	4 「ミッションゲーム」をする。 (1) 友だち同士で，丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりしながら，GTが指令を出した世界各国の食べ物カードを集める。 (2) 中間評価を行う。 (3) 活動を続ける。 5 「自分のスペシャルメニューを作ろう」をする。 (1) デモンストレーションを見た後，今まで学習した表現を使って，ペアの好みを聞く。 6 次時に向け，スペシャルメニューを考える。	・ The first activity is Mission game. ・GTとデモンストレーションを通して，対話を続けるための表現を使ったり反応したりする姿を見せる。 ・児童と一緒に活動する。 ・ Next is make a Special menu. ・GTとデモンストレーションを通して，対話を続けるための表現を使ったり反応したりする姿を見せる。	・扱う表現や反応，ジェスチャーを使ってデモンストレーションを行う。 ・児童が第4時で扱う食べ物を中心に指令を出す。 ・扱う表現や反応，ジェスチャーを使ってデモンストレーションを行う。	・食べ物メニュー表 ・食べ物カード ゲームをしている場面 ○ 丁寧な言い方や態度で欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 ○ 対話を続けるための表現を使って，好きかどうかや数を尋ねたり答えたりしている。また，挨拶やお礼を言ったりしている。 (外国語への慣れ親しみ) ・児童用スペシャルメニューシート
まとめ(5)	7 振り返りカードに記入し，感想を交流する。	・めあてをもとに振り返るよう指示する。	・自己評価にコメント(good)を書いて回る。	・振り返りカード
・ゲームを通して，丁寧な言い方と態度で，欲しいものを尋ねたり答えたりしましたか。 ・今までに慣れ親しんだ表現を使いましたか。 ・次時に向けて				
あいさつ(1)	8 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	Good-bye.	

● 本時の活動の詳細

ミッションゲーム (オリジナル活動)

○ ねらい

対話を続けるための表現も使いながら、食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。



※留意点

- ・料理名に慣れ親しむようにするために、第4時の活動で扱う料理を取り入れる。
- ・児童が第4時で欲しい料理を事前に把握し、そのカードを集めるように指令する。
- ・中間評価では、その後の活動に活かせるように、コミュニケーションで大切にする「アイコンタクトや反応」をしながら丁寧な言い方で活動している児童・対話を続けるための表現を使っている児童の姿を紹介する。

○ 準備

メニュー表・巻末児童用絵カード (食べ物)・世界各国の料理カード・教師用絵カード

○ 進め方

担任	GT
<p>① メニュー表を見せながら、ミッションゲームをすることを伝える。</p> <p>② GT とデモンストレーションをする。デモンストレーションでは、丁寧な尋ね方や答え方をはじめ、対話を続けるための表現を使うことやコミュニケーションで大切なことを全体で確認する。</p>	<p>⑤ 担任とデモンストレーションをする。</p>
<p>担任&GT: Hello. How are you? I'm~. and you?.(挨拶をする/様子や状態を聞く)</p> <p>GT: What would you like?</p> <p>担任: I'd like ○○. (GT から指名された物) ○○ please. (物をもらう)</p> <p>GT: Oh,○○. (反応する) Do you like ○○? (好きかどうかを尋ねる)</p> <p>担任: Yes, I do. I like ○○. / No, I don't. I don't like ○○.</p> <p>GT: (カードがあれば) Here you are. (カードがなければ) Sorry.</p> <p>担任: Thank you.</p> <p style="text-align: center;">※交代で続ける。</p> <p>担任&GT: Good-bye. (挨拶をする)</p>	
<p>③ 活動を見て回り、コミュニケーションで大切なことを意識しながら、丁寧な言い方で尋ねたり答えたりしている児童・対話を続けるための表現を使っている児童を褒める。</p> <p>④ 中間評価を行い、その後の活動に活かせるように、コミュニケーションで大切なことを意識しながら、丁寧な言い方で尋ねたり答えたりしている児童・対話を続けるための表現を使っている児童を紹介する。</p>	<p>⑥ 活動を見て回り、コミュニケーションで大切なことを意識しながら、丁寧な言い方で尋ねたり答えたりしている児童・対話を続けるための表現を使っている児童を褒める。</p>

自分のスペシャルメニュー作り (オリジナル活動)

○ **ねらい**

対話を続けるための表現を使いながら、食べ物の言い方や丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。



※留意点

- ・ 料理名に慣れ親しむようにするために、第4時の活動で扱う料理を取り入れる。
- ・ 中間評価では、その後の活動に活かせるように、コミュニケーションで大切にする「アイコンタクトや反応」をしながら丁寧な言い方で活動している児童・対話を続けるための表現を使っている児童の姿を紹介する。

○ **準備**

メニュー表・巻末児童用絵カード(食べ物)・世界各国の料理カード・教師用絵カード

担任	GT
<p>① メニュー表を見せながら、ペアでスペシャルメニューを作ることを伝える。</p> <p>② GTとデモンストレーションをする。 デモンストレーションでは、対話を続けるための表現を使うことやコミュニケーションで大切なことを全体で確認する。</p>	<p>② 担任とデモンストレーションをする。</p>
<p>【インタビューの仕方】</p> <p>担任&GT: Hello. How are you? I'm~, and you?(挨拶をする/様子や状態を聞く)</p> <p>GT: What food do you like?</p> <p>担任: I like ○○. (メモをする)</p> <p>GT: Oh,○○.(反応する) Do you like ○○? (好きかどうかを尋ねる)</p> <p>担任: Yes, I do. I like ○○. / No, I don't. I don't like ○○.</p> <p>GT: What drink do you like?</p> <p>担任: I like ○○. (メモをする)</p> <p>GT: What fruits do you like?</p> <p>担任: I like ○○. (メモをする)</p> <p>GT: OK. Thank you.</p>	
<p>③ 友達の好みを聞き、メモをさせる。さらに、2～3品を友達のことを考え、選ぶようにすることを伝え、次時の活動への見通しをもたせる。</p>	<p>③ 活動を見て回り、対話につまずいている児童へ支援をする。</p>

協議会報告

1 授業日 平成29年10月25日(木)

2 出席者 21人

3 授業内容

単元名 What would you like? ランチメニューをつくろう

4 指導の実際

(1) 基本表現と対話を続けるための表現を使ったデモンストレーション(活動前・中間評価・児童の紹介)

- ・ 対話を続けるための表現を使わなければならない場の設定をし、GTと担任が対話を続けるための表現を取り入れた簡単な英語表現を使い、対話を続けるための表現を使うことのよさを伝える。
- ・ 交流中の中間評価で対話を続けるための表現や非言語的表現を使った児童を取り上げ、対話を続けるための表現を使うことで友達とさらにコミュニケーションが取れることを再度確認する。

(2) 基本表現と対話を続けるための表現の掲示

- ・ デモンストレーション中に、対話を続けるための表現を使いながらその表現の掲示物を指し示すことで、これまでどんな場面で使った表現であるかを振り返らせる。
- ・ 活動中にどのような英語表現を使えばよいか分からなくなった際に、掲示を見て対話を続けるよう促す。

(3) その他

- ・ 「対話を続けるための表現と基本表現を使って対話ができていたか」と「友達にメニューを作ってもらってどう感じたか」という振り返る視点を明確にしてカードを書かせる。

5 考察

(1) 基本表現と対話を続けるための表現を使ったデモンストレーションは有効であったか。

- デモンストレーションの中で簡単な英語表現のやり取りを取り入れていたため、児童は基本表現だけでなく対話を続けるための表現を使った対話する姿が見られた。
- 毎時間の活動前のデモンストレーションの中に、対話を続けるための表現を取り入れていたため、児童は無理なく対話を続けるための表現を使ってコミュニケーションを図っていた。
- 対話を続けるための表現をなぜ使った方がいいのか、児童に伝えきれていなかった。
- デモンストレーションで、英語表現だけではなく、非言語的表現の重要性も確認することで、英語表現の慣れ親しみに苦手さを感じている児童がさらに積極的にコミュニケーションをとろうとしたのではないか。


(2) 基本表現と対話を続けるための表現の掲示は有効であったか。

- デモンストレーション中に、対話を続けるための表現の掲示物を指示棒で指したり、GTと担任が対話を続けるための表現を取り入れた簡単な英語表現を使ったりするなど、対話を続けるための表現を使うことをしっかり伝えていたことで、活動中に意識して使おうとする児童の姿がみられた。
- 掲示してある対話を続けるための表現を見てから、その表現を使おうとする児童の姿がみられた。
- 掲示してある対話を続けるための表現を見てから、その表現を使おうとする児童の姿がみられた。
- デモンストレーションで使うすべての英語表現が黒板に提示されていなかったため、児童がまわりの掲示物を見ながら理解しようとしていた。会話のすべてが同じ場所に掲示してあることが必要であった。

(3) その他

- コミュニケーション活動をペアで行うことで、英語表現に対して不安を感じていたり、積極的にコミュニケーションを図ることを苦手に感じていたりする児童を手助けする姿が見られた。

- 中間評価では、対話を続けるための表現を使ったかどうかの確認をしていたので、児童は後半の活動で意識することができた。
- 明確に振り返る視点を与えたので、基本表現と対話を続けるための表現を使って欲しいものを尋ねたり答えたりすることができたなど、児童が振り返りやすかった。
- 振り返りの場面の最後に、①基本表現と対話を続けるための表現を使って対話できた児童、②相互理解について記述していた児童、の2点を発表させることで、この単元のねらいを全員に気づかせることができた。
- 友だちのためにメニューを作るという意識が薄かった。第1時で何のためにメニューを作るのかという目的をしっかりとらえさせる工夫が必要だった。
- 活動の最後に友だちのためのメニューを紹介する場面で、目的が明確になるように○○ランチとネーミングするなど、自分がどんなテーマで友達のために選んだのか簡単に説明する活動を明確に仕組む必要があった。
- GTの店を作り、GTと対話をするなど、対話を続けるための表現を取り入れたより豊かなコミュニケーションができる場を設定する必要があった。

教師の支持・児童の反応（主なもの）	活動の形態・様子
<p><あいさつ><ウォーミングアップ></p> <p>T: Stand up please.じゃあ、日直さんあいさつお願いします。</p> <p>S: Hello. ○○ sensei.</p> <p>T: One two.</p> <p>Ss: Hello, ○○ sensei.</p> <p>G: Hello, ○○ sensei.</p> <p>T: Hello, ○○ sensei.</p> <p>G: Hello, guest. Hello, everybody.</p> <p>Ss: Hello.</p> <p>G: OK. Please sit down.</p> <p>T: はい、学習の流れに注目してください。今までみなさんは2時間目と3時間目に今まで習った表現、今まで習った表現と丁寧な表現を使って慣れ親しんできました。じゃあ、まずは今から慣れ親しみのチャンツをしたいと思います。Everyone, stand up please.</p> <p><チャンツ></p> <p>T: OK, good chants. Everyone sit down please.</p> <p>はいでは、今日はめあての確認をする前に、ちょっと前回のね、振り返りを何人か紹介したいと思います。まず○○さんの振り返りカード、こう書かれてました。今までに学習した英語を使って友達にスペシャルメニューを作ってあげたいです、って書いてありました。これまでに習った表現を使えるよね。で、○○くん、次回のスペシャルメニュー作りでは、お友達が喜んでくれるスペシャルメニュー作りをしたいと思います、ってことが振り返りに書いてありました。</p> <p>今日は作っていくので、みんなお友達が喜んでもらえたらとてもいいなと思います。ちょっと楽しみになってきましたね。楽しみです。じゃあ今日のめあてを確認したいと思います。Today' aim is one two,</p> <p>Ss: 今までに習った表現・丁寧な言い方で欲しいものをたずねたり答えたりする表現を使って友達のためのスペシャルメニューを作ろう。</p> <p>T: 今日はこのスペシャルメニュー作りを通して今までに習った表現、そして丁寧 What would you, で I'd like を使って友達に喜んでもらえるようなスペシャルメニューが作れたらいいなと思います。では、今からデモンストレーションをします。Today's main activity is make a special lunch menu.</p> <p>今からデモンストレーションをします。2つのこと気をつけてよく見ててください。よく聴いて。1つ目、デモンストレーションをするとき、どんな表現を使っているかな、それと○○先生、店員さんがどんな態度で接客、難しい言葉やけど接客をしているのか、見といてね。これはみんなに聞くけん、しっかり聴いておいてくださ</p>	<p>コミュニケーションポイント（特に clear voice や eye contact）を意識して元気よく挨拶をしていた。</p> <p>前時の振りかえりを通して本時のめあてを確認していた。</p> 

い。

では Watch us demonstration.

G : Hello.

T : Hello.

G : How are you?

T : I'm very hungry.

G : Oh, what would you like?

T : I'd like spaghetti and paella.

G : Spaghetti and paella.

T : Yes, please.

G : How many spaghetti and paella?

T : One spaghetti and one paella please.

G : Spaghetti one and one paella. Here you are.

T : Thank you.

G : You are welcome. See you.

T : See you. Bye.

T : 今デモンストレーションの中で、どんな表現を使った？〇〇先生はどういう態度で接客をしていましたか？じゃあ、全員手を挙げて下さい。Everyone, please raise your hand.

じゃあ〇〇, stand up.

S : 丁寧な言い方を使って言っていたと思います。どうですか？

Ss : わかりました。

T : よう聴いとしたね。丁寧な表現っていうのを今回学習しているんだよね。What would you like? I'd like~を使ってやりとりをしていました。他に気付いたことがある人？Everyone, raise your hand.

T : じゃあ〇〇, stand up.

S : はっきりした言い方で注文していたと思います。

T : そうね、はっきりとした clear voice を使って接客しottaね。よう聴いとしたね。Sit down. じゃあその他に、じゃあ〇〇 stand up.

S : 目線。

T : ああいいところに気がついたね。目線。をしっかり相手をお互いを見て、デモンストレーションしていました。その他にも今までに、あ、まず丁寧な表現とここにある今までに習った表現を使ってデモンストレーションをしていました。みなさんもがんばりましょうか。慣れ親しみをしてきました。じゃあ今からみんな実際にやってもらいたいと思います。今みんなが見てきたようにこの3つの、今までにならった表現が使えるといいですね。丁寧な言い方 What would you like が使えるといいですね。そしてここコミュニケーションポイントが使えるととてもいい活動になると思います。では、準備をしたいと思います。店員さん, shopkeeper, please stand up. Go shop. Let's go shop.

T : はい、一番後ろのゲスト、お盆をもって行ってください。

T : はい, customer, stand up.

T : Please look at me.今からお互いに lunch menu をつく

担任と GT が本時で使う表現のデモンストレーションをし、児童は3つのポイントに気をつけてよく聞いていた。

デモンストレーションをよく見て、見る視点に沿って気づいたことを発表していた。

りにいきます。OK? customer あごめんなさい Shop
keeper OK?

Ss : Yes.

T : では、終わった人は、前に来て貼っていても構いません。
ゴミは前に持ってきてください。

では Let's start making a special menu. Let's start.

<活動>

S1 : Hello, ちょっと。How are you?

S2 : えーっと I'm fine.

S1 : Oh. What would you like?

S2 : えーっと。

S1 : まずはメニューを言うと。

S2 : どういう意味? I like? I'd like salad.

S1 : Salad

S2 : と hamburger.

S1 : Salad and hamburger.

S2 : Yes.

S1 : How many salad, hamburger?

S2 : えーと One.

S1 : One salad, one hamburger っていうと。

S2 : One salad, one hamburger. Thank you.

S1 : Here you are. See you.

S3 : Hello.

S4 : Hello.

S3 : What would you like?

S4 : I'd like hamburger.

S3 : Hamburger. How many?

S4 : One hamburger.

S3 : One hamburger. Here you are.

S4 : Thank you. Bye.

S5 : How are you?

S6 : I'm fine.

S5 : That's fine. What would you like?

S6 : I'd like salad.

S5 : How many salad?

S6 : One salad.

S5 : Here you are.

S6 : Thank you.

S5 : See you.

T : 終わった人は前で貼りましょう。

S : ○○先生 終わった人は貼ってもいいですか?

T : いいですよ。

<活動>

T : はい、じゃああと 1分とります。

<活動>

T : はい、ではいったん真ん中に集まって everyone, please
sit down. はい shop keeper 自分の席に戻ってくださ



自分の欲しい食べ物をもらうために丁寧な表現や既習表現を使って友達と交流していた。



Eye contact を意識して、交流していた。

い。座りましょう。Sit down please. ○○, please look at me.

T: じゃあちょっと今の活動を振り返りたいと思います。

T: じゃああと1分とります。

T: ではいったん真ん中に集まって。Sit down please.はい、ショップキーパー自分のお盆を持ってきてください。

G: Your turn change.

T: Sit down please. Please look at me. OK, very good. 今の活動を振り返りたいと思います。今までに習った表現, 掲示物見て, 今までに習った表現, shop keeper 店員さんも, お客さん customer も, どちらも今までに習った表現使えましたよ! (挙手を促す)

S: (挙手)

T: ああ多いね。良かった 良かった。はいじゃあ下ろして。次。丁寧な言い方, 店員さんは What would you like? お客さんは I'd like~. って使えた人。(挙手を促す) ああ良かった。多かったね。

じゃあ先生が見ていて良かった人を言います。まず○君と○○君, とても笑顔(掲示物を示しながら)笑顔だった。○○君, 店員さんって日本でもそうだけど, 知ってる人? 知らない人?

S: 知らない人。

T: 知らんとよね。知らない人, 笑顔で話しされたら○○君どういう気持ちがる?

S: 嬉しい。

T: あーなるほど嬉しい。○○さんどう? 笑顔で話されたら。

S: . . .

T: どう。同じでもいい。

S: 嬉しい。

T: あーやっぱり嬉しい。笑顔でコミュニケーション, 笑顔で話しをすると, とても気持ちがいい, とても大事なこと。あと, ○○さん, 今までに習った表現 How are you? とか How many? を使ってできていました。後ろにある掲示物, あれ様子や状態, あれ今までに習った表現ね。How are you, みんな初めて会った人に, How are you? って聞かれたらどんな気持ちがる。

S: 挨拶する。

T: あー, 挨拶返そうって思うの。なるほど。○○君は。何も言われんのと How are you って言われるのは。

S: 気持ちがいい!

T: あーやっぱり。挨拶って一緒やね。日本でも外国語でも最初に How are you? って挨拶をするととてもいい気持ちになるね。

じゃあ今からまた交代します。交代をして, するんだけど, もう1回確認。

今までに習った表現, そして丁寧な言い方, で今気持ちがいいって言ったよね, こういうコミュニケーションポイントもあれば気持ちがいいよっていう一つなだけ

ど、それを意識してやりたいと思います。では後半、店員さん、shop keeper stand up

OK, Let's go shop.

S : (立ってお店に行く)

T : じゃあお客さん、Stand up ! Shop keeper 店員さん、今自分の机の下にお盆置きましたか。置いたね。では次はまたペアの友だちのために考えて注文を取りに行きましょう。Let's start making special lunch menu. Let's start.

S7 : Hello.

S8 : Hello.

S7 : How are you.

S8 : I'm hungry.

T : ジェスチャーがいいね !

S7 : What would you like ?

S8 : I'd like pizza . . .

S7 : How many salad ?

S8 : 2 please.

S7 : Here you are.

S8 : Thank you.

S7 : Bye. あ、See you やん。

S9 : 来てください。只今閉店セールです。50%オフです！誰か来て。おーい。

S10 : 相手が選んどうか分からんけんね。

S9 : そうやね、悲しい。

T : あと 2 分取ります。

T : では全員お盆を持って集まりましょう。Please sit down.

T : Everyone please look at me.

T : 今みんなの様子を見ていると、今までに習った表現は使っていて、ここ、コミュニケーションポイント、スマイルもさっきより使っていて、今までに習った表現入れながらみんな注文ができていたと思いました。じゃあみんな、自分のために何をつくってもらったか知りたくない。どんなの選んできたんやろ。ペアは何を選んできたんやろ。じゃあ今からそれをお互い紹介したいと思います。

いい、〇〇先生と〇〇先生でデモンストレーションするんで、しっかりと見ていて欲しいと思います。

Please watch our demonstration.

〇〇先生、Please tell me special lunch menu.

GT : Special lunch menu is . . .

Do you like paella?

T : Yes, I do. I like paella.

G : Great. Here you are.

T : Oh, thank you.

G : Salad, paella, French fries, halo-halo. Here you are.



既習表現と丁寧な表現を意識して、交流していた。

Eye contact や smile もできていた。



紹介をするデモンストレーションを担当と GT が行い、どの子も真剣な表情で聞いていた。

T : Thank you. Oh, very nice lunch menu.

T : では、今からお互い紹介してもらいたいと思います。みんな、自分のメニューを見て一品だけこれって思うものを Do you like〜? とお友達に聞いてみてください。聞かれたらちゃんと反応してね。Nice. とか Very good. とちゃんと反応してね。

Let's start to introduce a special lunch menu.

<紹介タイム>

S11 : Do you like halo-halo?

S12 : Yes, I do.

S11 : Special lunch menu . . . Salad, halo-halo . . .

S12 : Nice.

S11 : Here you are.

T : あと1分とります。

T : 終わった人注目してください。

T : ではいったんメニューを下に置きましょうか。

T : では、今みんな紹介してもらったから、何人かどんなものを作ったのか紹介してもらいたいと思います。

T : ○○Stand up, and Some here.

S : 僕は、○○さんにカレーとサラダとケーキを選んでもらいました。

T : どう思った?

S : 多すぎて食べられません

T : じゃああと1人。○○Stand up.

S : ○○君にハロハロとステーキとサラダを選んでもらいました。

T : サラダが2つあるよ。

S : サラダが2つあることに、泣きそうになりました。

T : はい拍手。では注目してください。

T : 今お友達のためを思って、今までに習った丁寧な言い方とコミュニケーションポイントを意識して選んでももらいました。もらってみてどう思った。嬉しかったっていう人もおるし、食べきれんっていう人もおるよね。それでも、とてもお友達があなたたちのことを考えて作ってくれたんよね。実は、今日学習した丁寧な言い方、What would you like ○○先生も使ったことがあります。実際に○○先生が外国に行った時、「お腹がすいた」って思ってレストランに行った時、店員さんに必ずWhat would you like? って聞かれます。で先生 I'd like ~って食べたいものを伝えました。そうして注文をすることができたので、みんなも是非ね、物を頼むことがあった時に、覚えておくとスムーズに注文ができるので、是非使ってみてください。

前列の人、後ろから振り返りシートを渡してください。

T : もらった人。Please look at me.今日は2つのことを書いてもらいます。まずは今日の時間の振り返り。(2つの視点を貼る)

T : あ、今ぱっと見てくれた。素晴らしい。

T : 友だちにスペシャルメニューを作ってもらってどう感じましたか。もう一つ。友だちのことであなたが知った



自分が作ったメニューを指で指し示しながら、相手の友達に紹介していた。



ことは何ですか。ということを書いてください。質問がある人。Any question? Let's start

T: 終わった人は鉛筆をボードの上にさして下さい。ではいったん探検ボードを置きましょう。では今日の学習で。

S: 隣の〇〇さんがプリンが好きと知っていたので、プリンをメニューに入れてあげたら喜んでいたので良かったです。

S: サラダを入れてくれて身体にいいメニューを考えてくれたので嬉しかったです。〇〇君はスイーツが好きということが分かって嬉しかったです。

T: 新しく知ったことやね。

T: 今日は単元のまとめですので、もう1個書くところがあります。この視点をもって書きましょう。今まで習った表現、ずっと言ってるね。と、丁寧な言い方を使うことができたか。そして、この単元で学習した表現をどの場面で使いたいですか。ではこの2つでLet's start. 3分取りたいと思います。

T: もうちょっと時間欲しい人いますか。〇〇さんStand up please.

S: 今まで習った表現や丁寧な言い方を使って楽しく会話できました。外国に行ったり、外国の人ばかりがいっぱいいる場所で使いたい。

T: はい拍手。外国で使うだけでなく、日本にいても外国の人がいっぱいいるところで使えるんですね。是非使ってみてください。〇〇君。

S: 丁寧な言い方を忘れていたけど使えてよかった。大人になって外国に行ったときは使いたい。

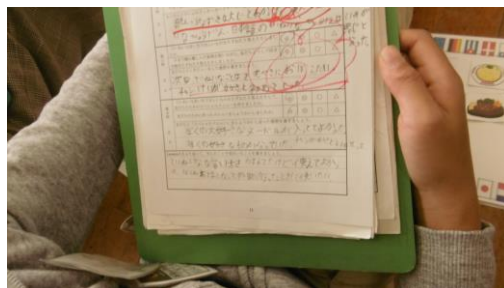
T: はい拍手。〇〇君も大人になって是非使ってください。では全員注目。今日でこの単元の学習が終わります。この丁寧な表現は今日で終わるんだけど、この表現もこれからは今まで習っていた表現になるからね。だから、これからも今までに習った表現を使って楽しく英語を進めていけたらいいと思います。

Stand up please. 日直さん挨拶をお願いします。

S: Thank you 〇〇先生

G: Thank you children. See you.

S: See you.



振り返りの視点に沿って、今日の学習で学んだことを書いていた。